

水曜会

第59号

令和5(2023)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



ばらのまち福山

きだこうへい市政報告 vol. 11

令和5年3月

福山市議会議員 喜田紘平 第11回市政報告

子ども達の未来



41歳

喜田 紘平

皆様のお力添えのお陰で2期目の当選をさせて頂き、就任から3年が経過し、任期も残りあと1年となりました。教育課題・子育て課題を中心に、日々さまざまな行政課題を市長・教育長を始め、市職員と議論を重ねています。昨年6月議会定例会・本会議では通算15度目、12月議会定例会・本会議では通算16度目の一般質問の機会を頂きました。

この度、私の市議会議員としての活動をまとめました『きだこうへい市政報告』第11号が出来上がりました。ぜひご一読頂ければ幸いです。

引き続き、皆様から変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



福山市議会 水曜会議員団

12月補正予算の概要

	1次分	2次分
一般会計	55億8,647万円	5億1,923万円
特別会計	964万円	1,144万円
企業会計	4億3,665万円	
小計	①60億3,277万円	②5億3,067万円
③全会計合計	①+②65億6,344万円	

12月定例市議会

本会議は11月29日から21日間にわたって質疑や議論を行い、新型コロナウイルスの追加対策などを盛り込んだ一般会計補正予算案など35議案を賛成多数で可決しました

福山市スポーツ協会「天野肇スポーツ基金」を創設

補正予算一次分で主なもの、新型コロナウイルス対策として、医療機関が実施するPCR検査や入院医療費です。

それ以外では、前福山市スポーツ協会会長天野肇氏からの1億円の寄附を財源に国際的な舞台で活躍するアスリートの発掘、育成支援、指導者の育成などの事業費に充てるための基金創設や、認定子ども園などの給付費の増加や、ごみ処理施設整備事業費の物価高騰に伴う事業費増に対応するものです。

その他、債務負担行為として、ごみ処理施設整備事業や「ももいろクロ

発達障害のある児童生徒・・・約11人に1人 (通常学級のみで！)

文科省が10年ぶりに小・中学校の通常学級に在籍をする発達障害のある児童生徒の割合を公表しました。

前回10年前の2012年の調査では6.5%と公表されましたが、今回の調査では2.3%上昇し、8.8%と公表されました。約11人に1人の割合です。ただしこの数字には特別支援学級に在籍の児童生徒も、特別支援学校に在籍の児童生徒も含まれていません。

ちなみに、福山市の特別支援学級の在籍児童生徒数はここ5年で約2倍となっています！恐らくこれは全国の自治体でも同じような状況だろうと推察されます。

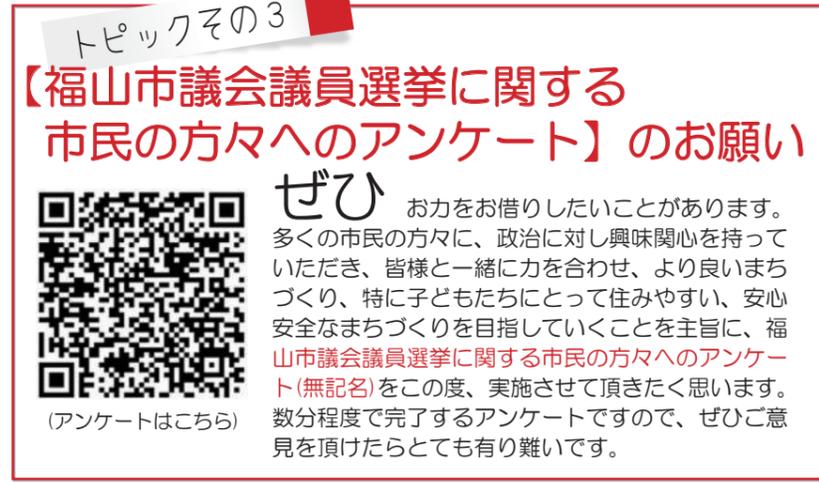
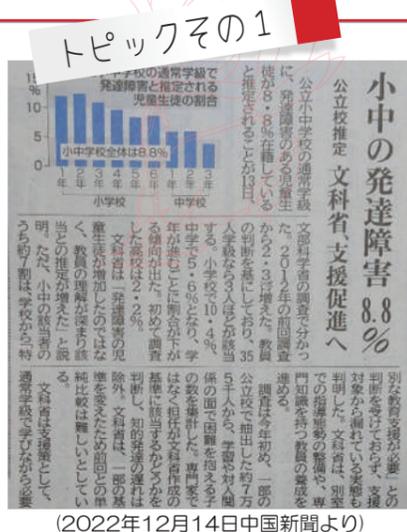
要は、それだけ困り感やしんどい思いを日々している子どもたちがかなりの数、いま増えているということです。

だからこそ、当事者やその家族だけでなく、「周囲の理解」「地域の理解」「社会の理解」が喫緊の課題です。

そのためにも、私自身「発達障害お悩み相談室」というYouTubeチャンネルを開設させて頂くなど、日々活動させて頂いています。

多くの皆様と共に、発達障害に対する理解促進の力に何とかなれれば願っています。

発達障害お悩み相談室 YouTube 検索



12月補正予算 (主な事業) 一次分	
新型コロナウイルス感染症対策分	2億8,665万円
国補助事業	2億8,665万円
通常分	58億8,949万円
福山城築城400年記念事業推進負担金	200万円
教員環境の充実(寄宿舎整備費用)	670万円
寄付金対応	
(天野肇スポーツ基金の創設など)	1億 437万円
財政調整基金積立金	27億6,000万円
国庫負担金等返還金	19億 882万円
地域型保育給付費	1億9,800万円
認定子ども園給付費	1億5,600万円
後期高齢者医療給付費負担金	8,242万円
ふるさと納税推進事業費	6,953万円
その他	1億5,057万円
後期高齢者医療特別会計(給付金の精算)	3,709万円
下水道事業会計	4億1,402万円
人件費分	△1億4,337万円
人件費の調整など	△1億1,513万円
その他	△2,823万円

補正予算二次分では、新型コロナウイルス対策分として、医療機関が実施するPCR検査や入院医療費です。

また、安心安全対策として、道路用車両安全対策費など4億608万円です。

また、安心安全対策として、道路用車両安全対策費など4億608万円です。

小中学校等の衛生用品購入費2056万円をはじめ、出産・子育て支援として、妊婦・出産包括支援事業費4億4115万円です。この事業は、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図ることを目的に、10万円を支給するものです。

令和5年1月中旬に事業開始します。

また、安心安全対策として、道路用車両安全対策費など4億608万円です。

12月議会の一般質問者は左記のとおりです。(発言順)

- 大田祐介 市民病院の周産期医療センターについて
- 連石武則 幹線道路網整備の意義について
- 石口智志 保育所入所について
- 喜田紘平 放課後児童クラブの開設時間延長について
- 木村素子 本市のPR政策について
- 羽田俊介 世界バラ会議福山大会について

詳細は、2月1日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。

この度の補正は、新型コロナウイルス対策分や出産・子育て支援と制度上必要とする通常分などです。それ以外は、スポーツ育成基金の創設の為の事業費です。

感染者が拡大している中、市民生活の安心安全に寄与するものであり、早期の執行を求め賛成しました。

6年前、34歳で市議会議員に初出馬した時から、初心に立ち返る気持ちを忘れない為にも、毎月定期的に辻立ちをさせて頂いています。辻立ち中、市民の方々からお声がけ頂きます。小学校に通うお子様をお持ちのお母さまからのご相談や、ご年配の男性からは周辺地域の課題についてのご相談。また、通学中の学生からは「私はまだ18歳ではないので選挙権はないんですが、市に要望があって…。そんな私の話でも聞いてもらうことはできますか?」というお声かけも。そんな中、この数年間は、地元の大学生たちが「ぜひ一緒に参加したい!」と駆け付けてくれます。子どもたちには投票権がありませんし、政治にはなかなか参加しにくい立場です。だからこそ、子どもたちの明るい未来のための環境を創ることができるのは、我々大人しかいません。私にしかできないことはまだまだ沢山あるはずだと心に言い聞かせ、子ども達の未来の為、これからも続けていきたいと思っています。

『6月議会 本会議での一般質問』

- 1 スケートボードに対する本市の在り方について
- 2 自転車の損害賠償責任保険加入の義務化について
- 3 成年年齢引下げによる生徒や保護者に対する学習機会の提供について
- 4 スクールロイヤー制度の導入について

『12月議会 本会議での一般質問』

- 1 子ども医療費助成制度の所得制限について
- 2 放課後児童クラブの開設時間延長について
- 3 子どもの車内閉じ込めへの対応策について
- 4 JR福山駅前レンタサイクルについて
- 5 中学校の英語教育における5ラウンドシステムについて

上記の議会での質問の映像記録を、きだこうへい個人のホームページに公開しております。質問の様子の子の全てが公開されておりますので、こちらもぜひご覧ください。

『福山目安箱』

福山に暮らして困っている事、改善してほしい事、もっとこうすれば福山の街が良くなる事...などを聞かせて下さい!!



リンク先はわたしのHP内になります。



(議会での質問動画)

1 スケートボードに対する本市の在り方について

Q 令和2年3月に、芦田川かわまち広場スケートボードパークが供用開始されて以来、若者を中心に多くの市民の方々に親しまれている一方、一部のスケートボーダーによる街中での器物破損行為や迷惑行為が問題となっています。今後、スケートボードが本市の大きな都市魅力となり、文化となっていくためには、より一層のマナー意識の向上のための取り組みが必要なことだと考えます。また、街中での使用を禁止すると同時に、スケートボードが許される場所を複数箇所、市の遊休地等を活用し、簡易施設でも良いので、増やしていくことも必要なことだと感じ、市の考えをお聞きました。(一部抜粋)

A 市長から、「迷惑行為等を防ぐため、施設内への禁止看板の設置や警察と合同での巡回や指導も行っており、今後も関係機関と連携し、迷惑行為の対策に取り組む。施設整備にあたっては、市内に気兼ねなくスケートボードができる環境が少ないため、今年度、秋頃から工事着手し、芦田川かわまち広場に初級者用の施設を増設し、照明施設も設置する。更なる増設の必要性についても今後検討していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

マナー向上のための働きかけを周知徹底して頂きたいこと。そして禁止すると同時に、スケートボードが許される場所を複数箇所設置して頂くことを要望しました。

2 自転車の損害賠償責任保険加入の義務化について

Q 自転車での事故による賠償金が、時に1億円近くになることも。よって保険加入をしていない個人が賠償することが非常に難しい事情があり、全国で加入の義務や努力義務とする自治体が増え続けています。本市においても、早急に加入の義務化を進めて頂きたく、今後の状況についてお聞きました。他方で、自転車の運転マナーの悪さを指摘する声も私の元に届いており、子どもたちを含む市民の方々や、外国人の方々に対する自転車の運転マナーの指導や、啓発等の現状をお聞きました。(一部抜粋)

A 市長から、「保険加入の義務化については、県において県内全域を対象に、条例の早期制定に向け取り組んでいる。義務化された際には、自転車利用者や販売業者等への更なる周知徹底に取り組む。また、小中学校では自転車の交通ルール指導・自転車事故の発生原因について学習している。外国人技能実習生に対しては、市や警察が出前講座で自転車などの交通ルールの指導を行っている。引き続き、保険の加入と交通ルールの遵守、マナーの向上について、取り組んでいく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

市民の方からは、外国人の方々の自転車の乗り方に対する要望の声が複数届いています。外国人留学生のいる各教育機関や各企業との連携を深め、学習機会の創出を要望しました。

3 子ども医療費助成制度の所得制限について

Q 子ども医療費助成制度の所得制限により対象外となる子どもたちがいます。所得制限があることにより、子育て世帯の中から、制度に対し不公平感を持つ方々の声が、数多く届いています。現在本市において対象外となる子どもたちはどの程度の数か、所得制限に対し他の中核市の状況はどうか、今後、所得制限の撤廃はどうかお聞きました。(一部抜粋)

A 市長から、「所得制限により制度対象外となる児童は全体の1割弱である。また、中核市の約8割の自治体が所得制限を設けていない。今後、所得制限の撤廃も含め、検討していく。」と大変力強いご答弁頂きました。(一部抜粋)

今、所得制限のある保護者の方々から、制度に対して不公平感を感じている旨の声を非常に多いのが事実です。所得制限のある方は、そもそも累進課税制度で、より多くの税金を納めています。にも関わらず、頑張っている所得が上がれば上がるほど、児童手当も減額になり、子どもの医療費の助成も制限がかかるという制度になっています。頑張っている方が、不公平感を感じてしまう制度であってはいけないと思います。すでに、福山市と同規模の自治体の実に8割が、所得制限を設けておらず、市長の英断を子どもたちのために期待したく、早期実現を更に要望しました。

4 放課後児童クラブの開設時間延長について

Q 現在、市内にあるほとんどの放課後児童クラブでは開設時間が18時までとなっています。一方、市内にある多くの保育園やこども園では、開園時間が19時までとなっており、この1時間の差が、子育て世帯にとって大きな負担となっています。実際、それまで正規雇用だった方が、放課後児童クラブの開設時間により、泣く泣く非正規雇用へと雇用形態を変更される方もいらっしゃいます。ひとり親家庭や核家族も増えてきた本市の現状において、放課後児童クラブの開設時間の延長は必要な施策であり、質問しました。(一部抜粋)

A 市長から、「開設時間の延長に向け、利用者のニーズ調査をする。今後、地域性や開設時間、サービス内容等について検討を進めていく。全国調査によると、18時を超えて開設しているクラブが全体の8割となっている。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)

現在、開設時間は市内のほとんどのクラブで18時ですが、これだと方々の帰宅ラッシュで渋滞の発生しやすい福山市の土地柄を考えると、保護者にとってはなかなかお迎えが難しいです。全国では全体の8割以上が18時を超えて開設しているの、そういった現状を鑑みても、早期に開設時間の延長をすべきだと更に強く要望しました。

5 子どもの車内閉じ込めへの対応策について

Q 全国で子どものスクールバス等、車内への閉じ込め事案が相次いでいます。同様のケースで子どもたちが被害に遭わないよう、本市としても早急に対応が求められていると感じ、令和3年度12月議会本会議において、同様の質問をしました。悲しい事故を引き起こさないための本市の対応策について、各家庭との連携、施設への指導や助言等を含め、質問しました。(一部抜粋)

A 市長から、「安全対策の実効性をいかに高めていくかという視点をもって、職員一人ひとりが厳重なチェックを徹底する中で、確実に児童の安全を保護していく。」とご答弁頂きました。(一部抜粋)



(2022年9月13日 中国新聞)

今、全国的にも相次いでいる事案ですので、市としても緊張感を持って取り組みを進めて頂いていると思います。大きなことが起きてからでは遅いので、日頃の各施設への注意喚起や、年1回の指導監査においても、危機管理を更に徹底して指導を続けてほしいと強く要望しました。

市民相談

市民の方からお寄せいただきましたご要望・ご相談の案件にお答え・お手伝いしました(一部抜粋)

「危険な体育倉庫」

小学校で放課後に、スポーツ教室を開催されていらっしゃる方から、「小学校の体育倉庫の扉が老朽化で上手く開かず、子どもたちがとても苦労している。また、倉庫内に全く明かりがなく、暗い中で作業も大変危険。何か大きな事故が起きる前に、早急に対応してもらえないだろうか?」と、すぐに教育委員会と協議へ。倉庫の扉の付け替えと、倉庫内へのLED照明器具の設置完了。何か大きな事故が起きる前に未然に対応でき、大変嬉しく安心しました。



修繕前：老朽化した扉 修繕後：しっかりした扉で安心

「グリーンベルトで安全確保」

市民の方から、「地域の小学校の通学路が、車の通りはそれなりにあるのだが、歩道がなく、下校中に危ないと思うことが多々あり、とても見ていて心配である。事故に巻き込まれてしまう前に、何とか通学路の安全対策をお願いできないだろうか?」と、すぐに現地を確認。担当課と話し、「グリーンベルト」の設置工事を行いました。「通学路の安全対策」は、私が推し進めたい最重要施策の一つ。引き続き子どもたちのために活動を続けてまいります。



改修前：車道と歩道の境目無し 改修後：子どもも車も安心

「動線がぶつかる東警察署前の歩道」

福山目安箱より、「福山東警察署前の歩道で、駐車場の壁と地下道の入口が混在し、非常に見通しが悪く、歩行者や自転車にとって大変危険である。先日も、通学中の学生がそこで事故を起こし、一人泣いていた…。私自身も、衝突したこともあったり、人にぶつかりそうになって怒鳴られたこともある。」と、すぐに現地を確認。担当課と話し、路面ペイントと、地下道への入口の柵のデザイン変更を施してくださいました。大きな事故が起きる前に施策が実現!



改修前：歩道の動線がぶつかる 改修後：分かりやすくこれで安心

きだこうへい 市民相談Q&A 検索 ←こちらにて、上記以外にも、ご要望・ご相談の案件をまとめています。

日々の活動の様子



2月 春の大学生議員インターンシップの受け入れ。政治に対して少しでも興味関心を持ってもらいたいですね。



3月 盛り上がった3年ぶりのふくやまマラソン出場!無事目標タイムでゴールできました。



3月 私の念願だった「子ども発達支援センターの医療体制の充実」が図られ、常勤医師が1名増員させることが決定!



5月 記念すべき福山城築城400年の視察で、建物の守り神である天守のシャチホコと一緒にパチリ!



6月 イェール大学の助教授を務められ、世界から「天才」と認められた成田悠輔さんに、色々とご挨拶しました。



8月 浜松市の科学館「みらいへら」を訪問。福山市も(仮称)子ども未来館が、設立に向けて動き出しています。



8月 4年ぶりの開催となった、二上りおどり大会に市議会チームの一員として参加。



8月 一般社団法人リディラバ代表理事の安部敏樹さんと、久々の再会。世界を見据え活躍する姿に刺激を頂きました。



9月 公益社団法人全国学習塾協会主催の教育シンポジウムのパネラーの1人としてお招きを頂きました。



10月 子どもたちとの街の清掃活動。中心市街地の路上喫煙禁止条例制定のきっかけでもあります。



11月 市議会・総務委員会主催の議会報告会。福山市スポーツ協会に加盟する各競技団体の皆様と意見交換を。



11月 福山市主催の路上喫煙防止に係るパトロール及び周知活動。路上喫煙の禁止をご理解して頂く活動です!



11月 福山市自治会連合会との議会報告懇談会に出席。行政に対する様々なご意見を頂きました。



11月 長年、児童虐待防止活動を続けている安芸戦士メープルカイザーさんとお会いさせて頂きました。



12月 メタバース空間制作事業や、アバター制作事業など、デジタルと福祉を掛け合わせた最先端の福祉事業の視察。